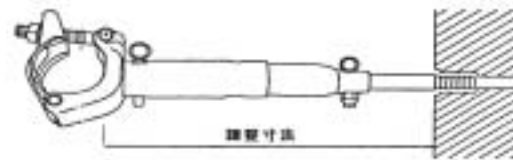


壁つなぎ

品名	調整範囲	重量 (kg)	引張強度 (kg)	圧縮強度 (kg)
NK-25	190~250	1.0	2756	2452
NK-34	240~340	1.1	2806	2368
NK-52	330~520	1.7	2862	2002
NK-72	500~720	1.9	2994	1710
NK-92	700~920	2.2	2968	1614



品名	調整範囲	重量 (kg)	引張強度 (kg)	圧縮強度 (kg)
A-200	200~240	0.85	3422	2770
A-300	240~320	0.95	3722	2382
A-400	320~480	1.15	3618	1950
A-600	480~670	1.45	3444	1602
A-800	670~860	1.75	3482	1530
A-1000	860~1050	2.00	3462	1298



使用上の注意

- 壁つなぎは、建物にできるだけ直角に取り付ける事、もし建物の構造、家の位置などで、直角に取り付けにくい時は、足場に単管などで、つなぎをとり、それに取り付ける事。
- 壁つなぎ用アンカーボルトをコンクリートに埋め込む時は専用のものとする事。
- 壁つなぎのわく組足場への取付けは建物材に取り付けるが、できるだけジョイント部分に近い所が望ましい。
- 朝顔、拡幅わくを使用している箇所は、わく組足場に偏心荷重が働くので、朝顔の取付け部には、2スパンごとに壁つなぎを取り付け、拡幅わく箇所は各スパンごとに壁つなぎを取り付ける事。
- 簡単クレーンなどを足場に載せた場合の壁つなぎは、クレーンのつり荷重によって足場転倒モーメントが生ずるので、これを防止するために、建わくの最上層ならびに下方に2層ごとに設けなければならない。